

令和6年度

北海道教育大学
附属函館幼稚園だより
NO. 11【号】



書き初め

北海道教育大学附属函館幼稚園長 五十嵐 靖夫

新しい年を迎えました。謹んで新春をお祝い申し上げます。昨年も大変お世話になり、誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私が中学校で特別支援教育コーディネーターをしていた時のことです。3学期の始業式に、女性のA先生が怒って私のところに来ました。「聞いてください、Bさんのことです。」A先生は1年生の担任で、私は、たびたび女子生徒のBさんのことで相談を受けていました。Bさんは自閉的な傾向があり、特別支援学級にいった方がよいのではないかと先生は考えていました。国語を担当するA先生は生徒たちに冬休みの課題として書初めを提出するように言いました。

A先生の話の続きです。「Bさん、書き初めに何て書いてきたと思いますか？よりによって『罵詈雑言』って書いてきたんですよ」と言って怒っています。書き初めに罵詈雑言・・・私は思わず笑ってしまったのですが、A先生は「何がおかしいんですか？」と言って怒っています。私は「なぜ罵詈雑言と書いたのかBさんに聞きましたか？」と尋ねると、「聞いていません」とさらにA先生は怒ってしまいました。

私はBさんに会い、書初めのことを聞いてみました。するとBさんが「A先生が冬休み前に、書き初めは新しい年を迎え、願いや誓いのことばを四字熟語で書くといいよと教えてくれました」と言いました。Bさんは、ちゃんと先生の説明を聞いていたんです。さらにBさんは「うちのクラスの女子は仲が悪いんです。陰で悪口を言ったり、悪口を書いた手紙を回したりしているんです。私は、そういうことはやめた方がいいと思ったんです。」

なるほど！わかりました。Bさんが新しい年を迎えて願ったことは、クラスの罵詈雑言をなくすことだったのです。『撲滅罵詈雑言』という意味だったのです。行動には必ず意味があると言われていました。行動の意味を正しく解釈し、その意味を理解することが、個に応じた指導には欠かせないと改めて思いました。